

こわくても、あきらめないで

バルデス・ロドリゲス・ザイラ

こんにちは。私は横浜国立大学の大学院生、ザイラです。私はドミニカ共和国から来ました。今日は、私のストーリーをお話ししたいと思います。

小さい頃のザイラは、とてもはずかしがりな人でした。人と話すことがこわくて、なかなか友だちを作ることができませんでした。でも、ある日、ザイラは「はずかしくても話してみよう」と思いました。少しずつ話すようになって、たくさんの友だちができました。そのとき、ザイラは気がつきました。みんなも同じようにこわいけど、一步をふみ出しがが大切だということに。

高校生のザイラは、世界を見たいと思いました。でも、家族とはなれることがとてもふあんでした。ザイラはお母さんに気持ちを話しました。お母さんはやさしく言いました。「だいじょうぶ。あなたならできるよ。」その言葉で、ザイラは夢をしんじる勇気をもらいました。

高校を卒業したザイラは、国を出て、遠い中国へ行きました。ことばが分からなくて、ひとりぼっちでした。でも、あきらめずに勉強して、たくさんの人と会って、大学を卒業しました。

そして、はたらいていたザイラは、また新しい一步をふみ出しました。ずっと夢だった日本に来て、大学院で勉強を始めました。よい仕事をやめて、日本で学ぶことを選びました。今、ザイラは横浜国立大学で多くのことを学び、あたたかい人たちと会って、毎日幸せを感じています。

むかしのザイラに言いたいです。「ありがとうございます。むかしのザイラたちの勇気のおかげで、今のザイラがあります。」そして、みなさんに伝えたいです。こわくても、あきらめないでください。その一步が、あなたのみらいを変えます。ありがとうございました。